

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E112J002		美術科授業論 (Teaching Theory of Art Education)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前期	水1	日本語			単独						
担当教員	氏名 藤井 康子 E-mail fujii-yasuko@oita-u.ac.jp 内線 7595														
授業の概要	中学校現場の観察を通した現状分析や課題等を手がかりに各自の設定するテーマに基づいた教材を作成して模擬授業を行い、美術教師の役割と教科の指導方法及び評価の在り方について検討する。模擬授業のリフレクションを通して指導内容・方法の改善を図る。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 美術科の教科内容を理解し、自分なりの教材・題材を構想できる。															
目標2 青年期の特性を踏まえた適切な指導の在り方を考え、模擬授業を実施できる。															
目標3 模擬授業を分析して成果と課題を捉え、教材と指導内容・方法を再構成することができる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									3	2	4				1
授業の内容															
1 美術科の授業研究—学習指導と評価の改善—															
2 高校美術の「A表現」映像メディア教材の開発 題材の検討、制作プロセスの構想															
3 高校美術の「A表現」映像メディア教材の開発 参考作品の制作															
4 高校美術の「A表現」映像メディア教材の開発 授業プランの検討、学習指導案の作成															
5 第1回 模擬授業及び授業評価、研究討議															
6 中学美術の「A表現」彫刻・工芸教材の開発 題材の検討、制作プロセスの構想															
7 中学美術の「A表現」彫刻・工芸教材の開発 参考作品の制作															
8 中学美術の「A表現」彫刻・工芸教材の開発 授業プランの検討															
9 中学美術の「A表現」彫刻・工芸教材の開発 学習指導案の作成															
10 第2回 模擬授業及び授業評価、研究討議															
11 中学美術の「A表現」デザイン教材の開発 題材の検討、制作プロセスの構想															
12 中学美術の「A表現」デザイン教材の開発 参考作品の制作															
13 中学美術の「A表現」デザイン教材の開発 授業プランの検討															
14 中学美術の「A表現」デザイン教材の開発 学習指導案の作成															
15 第3回 模擬授業及び授業評価、研究討議															
ラ イ ク ニ テ ィ ン グ ブ	A:知識の定着・確認		各々の学生が学習指導案を作成する。模擬授業と研究討議を行い、指導方法について考える。			工 夫 そ の 他 の	模擬授業をデジタルビデオカメラで撮影して自らの授業を分析し、指導の改善と工夫すべき点を認識する。								
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		日頃から美術に関心を持ち、日本及び世界の美術作品を見る機会をつくること。(10h) 各回の授業で取り上げる内容について、事前に学習指導要領等で該当する範囲を読み予習しておくこと。(12h)												
	事後学修		用具や材料に関する資料や参考文献を読み、造形に対する知識を深めること。(12h) 参考とする教科書や学習指導要領の内容を読み深め、自らの具体的な指導のイメージを構築すること。(11h)												
	想定時間合計		45												
教科書		・文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』平成29年告示、ISBN 978-4536590136。 ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編』平成30年告示、ISBN 978-4877304201。 その他、必要に応じて資料を配布する。													
参考書		・国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 美術】』、令和2年3月、ISBN 978-4491041377。 ・国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 芸術(美術)』、令和3年8月、ISBN 978-4491047072。													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	指導案の作成・演習への取り組み	50%										
	模擬授業の実施	30%										
	授業分析	20%										
注意事項	教材開発に必要な用具・材料については、各自で準備すること。											
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク												
	URL											